

訂 正 箇 所	訂 正 前	訂 正 後
<p>第1回議事録 5 ページ2～4行目</p>	<p>鳥取市でございますけれども、こちらについては、旧鹿野町というところの庁舎でございます。こちらは、議場で映画の上映ができるよう改修がなされています。</p>	<p>平成19年～平成23年にかけては、とっとり議場シネマ実行委員会が、映画の上映会を行っていますが、この間、旧議場の改修は行われていませんでした。その後、この旧議場は主として演劇に、一度だけ映画の上映に使用されるようになりますが、その際に劇団員による作業によって、演劇用小ホールとして使用すべく机や椅子を撤去するなどの簡易改修をされております。</p>
<p>第3回資料 議場シネマ等の利用客が少ない原因について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 開催回によって集客数にはバラつきがある。 2 上映に関する事前告知の期間が短い場合は、集客数が少なくなることがある。 3 学校行事と同日に上映する映画の内容が、子供向け・家族向けだった場合は、集客数が少なくなる傾向にある。 4 エレベーターがないため、足腰の弱い方や車椅子の方が利用しづらい。 (以上、H29.4頃 鳥取市担当者による回答) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 来場者について、作品や上映作品等によって若干差があるのは確かですが、それでも極端に少ない回はありませんでした。 2 毎回、上映会の1ヶ月前からは告知していました。 3 家族向けというのは定義が難しいですが、少なくとも子ども向けの作品を上映したことはありません。 また、旧鹿野町からの来場者は全体の2割程度であり、上映会は毎回2日間開催のため、学校行事の影響は小さいものと考えます。 4 庁舎にエレベーターが無いのは事実ですが、来場者は20代～30代が多く、高齢者を対象とした上映会ではないため、こういった理由は該当しません。また、車椅子利用者からのお問い合わせはありませんでした。 (以上、H30.3頃 とっとり議場シネマ実行委員長による回答)